

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

1. 化学品及び会社情報

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix
製品コード: QPX-101, QPX-101T
供給者の会社名称: 東洋紡株式会社
住所: 大阪市北区梅田町1丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
担当部門: バイオ事業総括部
(TEL:06-6348-3786(国内)、06-6348-3846(海外), FAX:06-6348-3833)
推奨用途: Realtime PCRによるDNAの定量

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
<THUNDERBIRD Next Probe qPCR Mix>	
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(区分外)
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない(区分外)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(区分外)

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 警告
危険有害性情報: 臓器(中枢神経系, 血液系)の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系, 呼吸器系)の障害のおそれ

注意書き:

【安全対策】 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物 (水溶液)

成分及び濃度又は濃度範囲

<THUNDERBIRD Next Probe qPCR Mix>

成分名称	含有量 wt%	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
水	約80%	7732-18-5	第八改正 日本薬局	公表	非該当	非該当	非該当
トリス(ヒドロキシメチル) アミノメタン	<1	77-86-1	2-318	公表	非該当	非該当	非該当
塩化カリウム	<1	7447-40-7	1-228	公表	非該当	非該当	非該当
塩化マグネシウム	<1	7786-30-3	1-233	公表	非該当	非該当	非該当
添加剤B	<5	非開示	非開示	非開示	非該当	非該当	非該当
デオキシアデノシン三リン酸 ナトリウム	約0.01	1927-31-7	---	---	非該当	非該当	非該当
デオキシシチジン三リン酸ナ トリウム	約0.01	102783-51-7	---	---	非該当	非該当	非該当
デオキシグアノシン三リン酸 ナトリウム	約0.01	93919-41-6	---	---	非該当	非該当	非該当
デオキシウリジン三リン酸	約0.01	102814-08-4	---	---	非該当	非該当	非該当
添加剤A	<5	非開示	非開示	非開示	非該当	非該当	非該当
エチレンジアミン四酢酸二ナ トリウム・2水和物	<0.01	6381-92-6	2-1265	公表	非該当	規制濃度以 下	非該当
グリセリン	約2.5	56-81-5	2-242	公表	非該当	非該当	非該当
ポリ(オキシエチレン)=オク チルフェニルエーテル	0.024	9002-93-1	7-172	公表	非該当	規制濃度以 下	非該当
DNAポリメラーゼ	<0.1	---	---	---	非該当	非該当	非該当
カルボキシ-X-ローダミン	<0.1	198978-94-8	---	---	非該当	非該当	非該当
エチレンジアミン四酢酸並び にそのカリウム塩及びナトリ ウム塩	<0.01	---	---	---	非該当	規制濃度以 下	非該当

<50×ROX Reference dye>

成分名称	含有量 wt%	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
カルボキシ-X-ローダミン	<0.1	198978-94-8	---	---	非該当	非該当	非該当
エチレンジアミン四酢酸並び にそのカリウム塩及びナトリ ウム塩	<0.01	---	---	---	非該当	規制濃度以 下	非該当

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

4. 応急措置

吸入した場合:	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、異常のある場合は医師の診断を受ける。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合:	製品に触れた部分を多量の水および石鹸でよく洗う。 外観に変化があるか、痛みが続く場合には直ちに医師の診断を受ける。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合:	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
応急措置をする者の保護:	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤:	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の危険有害性:	火災時に一酸化炭素及び硫黄酸化物を含む有毒ガスが発生する。
特有の消化方法:	消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護:	大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	眼、皮膚への接触、吸入を避ける。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。
環境に対する注意事項:	環境中へは直接廃棄しない。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材:	少量の場合は、土砂、おがくず、ウェス等に吸収させて空容器に回収する。 大量の場合は、土砂などで流れを止め、安全な場所に導いてから回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	使用時は保護具を着用し、使用後は手をよく洗い、人体に接触しないよう十分に配慮する。
局所排気・全体換気: 安全取扱い注意事項:	適切に換気し保護具を着用し取扱うこと。 眼、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
接触回避:	データなし。

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

保管

安全な保管条件: 密閉容器にて-20℃で保管する。
安全な容器包装材料: 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:
保護具

換気システムを設ける。

呼吸用保護具 呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク、防じんマスク)を着用する。
手の保護具 ゴム手袋を着用する。
眼の保護具 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具 必要に応じて保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态: 常温で液体。-20℃以下で固体。

色: 無色透明
臭い: ほとんど無臭
臭いのしきい(閾)値: データなし
融点・凝固点: データなし
沸点又は初留点
及び沸点範囲: データなし
引火点: 水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後99℃の引火点を持つ添加剤2及び160℃の引火点を持つグリセロールが残留する。

可燃性: データなし
爆発下限及び爆発上限
/可燃限界: 常温では爆発性はない。

自然発火点: データなし
分解温度: データなし
pH: 7.0~9.0
動粘度: データなし
溶解度: 水に可溶
n-オクタノール/水
分配係数: データなし
蒸気圧: データなし
比重(密度): データなし
蒸気密度: データなし
蒸発速度: データなし
その他データ: データなし

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

10. 安定性及び反応性

反応性:	-20℃以下で安定である。
化学的反応性、科学的安定性:	データなし
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

<THUNDERBIRD Next Probe qPCR Mix>

急性毒性 (経口):	区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (経皮):	区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (吸入):	区分に該当しない (分類対象外) (気体) 区分に該当しない (分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない (分類対象外) (粉塵・ミスト)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分に該当しない (区分外)
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性:	区分に該当しない (区分外)
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性、単回ばく露:	区分2(中枢神経系, 血液系)
特定標的臓器毒性、反復ばく露:	区分2(中枢神経系, 呼吸器)
誤えん有害性:	分類できない

成分
添加剤A

特定標的臓器毒性、単回ばく露:	区分1(中枢神経系, 血液系)
特定標的臓器毒性、反復ばく露:	区分1(中枢神経系, 呼吸器)

成分
添加剤B

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性:	区分2A

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

グリセロール

眼に対する重篤な損傷性 区分2B

ポリ (オキシエチレン) =オクチルフェニルエーテル

眼に対する重篤な損傷性 区分2A

<50×ROX Reference dye>

急性毒性 (経口) :	区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (経皮) :	区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (吸入) :	区分に該当しない (分類対象外) (気体)
	区分に該当しない (分類対象外) (蒸気)
	区分に該当しない (分類対象外) (粉塵・ミスト)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 :	区分に該当しない (区分外)
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性 :	区分に該当しない (区分外)
呼吸器感作性 :	分類できない
皮膚感作性 :	分類できない
生殖細胞変異原性 :	分類できない
発がん性 :	分類できない
生殖毒性 :	分類できない
特定標的臓器毒性、単回ばく露 :	分類できない
特定標的臓器毒性、反復ばく露 :	分類できない
誤えん有害性 :	分類できない

成分

データなし

12. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性 :	区分に該当しない (区分外)
慢性毒性 :	区分に該当しない (区分外)
残留性・分解性 :	成分中のポリ (オキシエチレン) =オクチルフェニルエーテルは難分解性である。酵素、タンパク質、ヌクレオチド、グリセロールは生分解性である。
生体蓄積性 :	情報なし
土壤中の移動性 :	情報なし
オゾン層有害性 :	分類できない
他の有害影響 :	情報なし

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	少量であればペーパータオルやウエスに吸収させて焼却処分する。その施設・地域の廃棄規則に準じて、廃棄物処理専門業者に処理を依頼する。
汚染容器及び包装:	その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国連勧告	国連分類:	国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
	国連番号:	なし
	品名(国連輸送名):	なし
	容器等級:	なし
海洋汚染物質:		データなし
国内規制:		輸送に関する法規制には該当しない。
国際規制:		輸送に関する法規制には該当しない。
輸送の特定の安全対策:		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。-20℃以下で保存し、輸送する。

1 5. 適用法令

化審法:	優先評価化学物質
PRTR法(化管法)(2009年施)	非該当
PRTR法(化管法)(2023年施)	非該当
安衛法:	腐食性液体
毒劇法:	非該当
消防法:	非該当
労働基準法:	疾病化学物質
高压ガス保安法:	毒性ガス
大気汚染防止法:	有害物質, 特定物質
水質汚濁防止法:	指定物質
海洋汚染防止法:	有害液体物質Y類物質, 有害液体物質Z類物質
船舶安全法:	腐食性物質, 運送禁止物質
航空法:	腐食性物質, 輸送禁止物質
港則法:	腐食性物質
道路法:	通行を制限する危険物
EU_REACH:	SVHC
ENCS(JAPAN):	非該当
TSCA(USA):	非該当
REACH(EU):	非該当
AICS(Australia):	非該当
DSL(Canada):	非該当
ECL(Korea):	非該当
PICCS(Philippines):	非該当

製品名: THUNDERBIRD® Next Probe qPCR Mix

IECSC (China): 非該当
ECN (Taiwan): 非該当

16. その他の情報

参考文献 【GHS分類方法】 JIS Z 7252 : 2019 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
社内データ
NITE-CHRIP (製品評価技術基盤機構)
職場のあんぜんサイト (厚生労働省)
RTECS (化学物質毒性データ総覧)
国際化学物質安全性カード
eZ-CHRIP (日本ケミカルデータベース株式会社)
Ariel WebInsight (日報化学品法規情報センター)
化学大事典 (共立出版社)
14705の化学商品 (化学工業日報社)

制約事項 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。